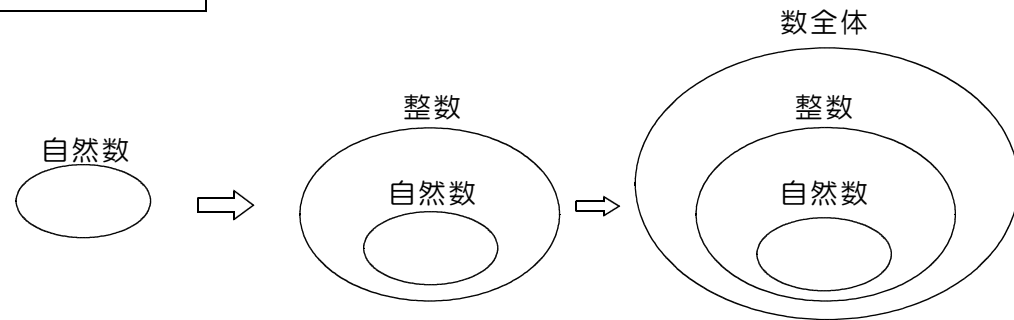


# 21 数の世界とひろがりとお四則計算

数・・・自然数、正の数、負の数、整数、分数、小数、偶数、奇数、約数、倍数  
最大公約数、最大公倍数

自然数全体の集まりを、 という。

自然数、つまり正の整数のほかに、0と負の数をあわせたものを、  
 という。



(例題) 自然数 2 と 7 の数字が書かれたカードがあります。このカードを、  
下に置いて計算するとき、いつも答が自然数になるのはどれでしょう。

- (ア)  +                       (イ)  -
- (ウ)  ×                       (エ)  ÷

いつも自然数になるのは \_\_\_\_\_

<課題1> 整数 5 と -7 の数字が書かれたカードがあります。このカードを、下  
に置いて計算するとき、いつも答が整数になるのはどれでしょう。

- (ア)  +                       (イ)  -
- (ウ)  ×                       (エ)  ÷

いつも整数になるのは \_\_\_\_\_

<課題2> 加減乗除の四則計算が、いつでもできるのは、自然数の集合、整数の集合、  
数全体の集合のうち、どの場合でしょうか。下の表に、計算がいつでもできる  
ときは○そうでないときは反例(成り立たない例)をあげましょう。ただし、  
0でわる場合は除きます。

	加 法	減 法	乗 法	除 法
自然数の集合	○			
整数の集合				
数全体の集合				

これまでに調べたことから、次のことがいえます。(P44を見て確認しましょう)

- 自然数の集合では、 と  はいつでもできる。
- 整数の集合では、、 および  はいつでもできる。
- 数全体の集合では、 はいつでもできる。

<練習> aを正の整数、bを負の整数とするとき、次のア~エのうち、その結果がいつで  
も正の整数になるのはどれか。記号で答えなさい。

- ア a+b      イ a-b      ウ a×b      エ a÷b

答 \_\_\_\_\_